

2022年度 薬用植物勉強会：金沢大学

日本薬学会北陸支部主催の薬用植物勉強会を以下のとおり開催しました。定員枠を設定したうえでの事前申し込み制として、当日は十分な感染対策を実施しました。金沢大学の薬草勉強会のスタイルは、所属研究室の配属学生と一緒に交流し、解説を担当するという形式です。参加者11名と教員2名と学生8名と一緒に薬草勉強会を楽しみました。今回は「特別回」ということで、内容はオープンスペースでのミニ講座と薬用植物園観察、オリジナル中国茶の作成などを盛り込みました。薬用植物園ではミカン科の果実類（ユズ、ミカン、カラタチ、ゴシュユ）やサンシュユの偽果、ヌルデの虫こぶなどを観察しました。中国茶は、これから冬に向けて身体を暖めるものを中心に生薬を準備しました。

参加者は天候にも恵まれた気持ちの良い日に、久しぶりの薬草勉強会の再開に喜んでいました。このような薬用植物の正しい知識の啓蒙活動が、薬系大学として継続できることを願っています。

- 【実施日時】 令和4年10月29日（土）、10時-12時
- 【会場】 金沢大学医薬保健学域薬学類附属薬用植物園（金沢市角間町）
- 【参加人数】 11人
- 【内容】 ミニ講座：「山茱萸（サンシュユ）」と「呉茱萸（ゴシュユ）」について
薬用植物園の見頃の植物解説（学生担当）
全員での薬用植物園観察会、散策
オリジナル中国茶の作成（お土産用）：菊花枸杞茶、荷葉複合代用茶など

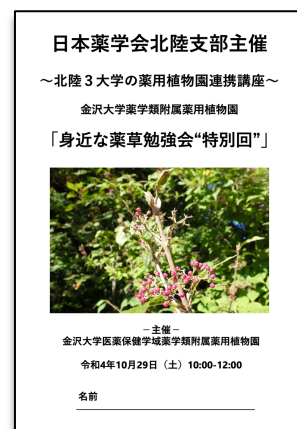
【実施風景】



オープンスペースでのミニ講座



学生による見頃の薬草解説



配布資料



植物園散策&観察会



植物園散策&観察会



オリジナル中国茶の作成